



# やぎた

## 議会だより

船越公園のさくら (昨年の様子)

No. 124  
2009.4.15発行



夢と希望を胸に初登校 (山田南小学校)

3 月  
定例会

ランチボックス制度導入を見送り  
**完全給食を調査・検討** — 2P

**議決議案ダイジェスト** — 4P

**住みやすいまちづくりへ...** (予算特別委員会) — 6P

**町の考えを聞く** — 11P

**飛び出せ青春** (山田高校書道部) — 20P

ランチボックス制度導入を見送り

# 完全給食を調査・検討

## 平成25年度の実施目指す



第1回定例会の様子（織笠小学校6年生が傍聴しました）

### アンケート結果を真摯に受け止め 真に望む完全給食を調査・検討

3月定例会は、2月19日から3月12日まで22日間の会期で開かれました。一般質問（11ページ19ページに掲載）には9人が登壇し、学校給食問題や産業振興策など幅広く町政について質問がなされました。町からは、介護従事者処遇改善臨時特例基金に関する条例や社会福祉憲章条例の一部を改正する条例など条例4件、補正予算6件、新年度予算10件などを含む24件を提案。総額114億円の新年度予算は4日間の予算特別委員会での審議の結果、すべて原案どおり可決されました。このほか岩手県後期高齢者医療広域連合議会の議員の選挙の実施、委員7人で構成する「議員定数検討特別委員会」の設置などを原案どおり可決し会期を閉じました。

実施について、今後、調査・検討を進める」との方向性を示しました。

馬場教育委員長は、教育行政に関する所信の中で

3月定例会初日の2月19日、平成21年度の施政方針と教育行政に関する所信が示されました。中でも、町長が施政方針で述べた「保護者が真に望む完全給食について、今後調査・検討を進める」という発言と、教育委員長が教育行政に関する所信で述べた「アンケート調査と事業採算性を考慮し、ランチボックス制度の実施は困難であると判断した」という発言に対し、議論が集中しましたので、その内容をお

知らせします。

沼崎町長は、施政方針の中で「学校給食については『ランチボックス方式を平成21年度の実施を目指し、調査検討する』と述べてきたが、昨年実施したアンケート調査によると、保護者の多くは、ランチボックス方式よりも完全給食を切望するものであった。先のアンケート調査は、学校給食について初めて町が保護者に問いつけたものであるが、この結果を真摯に受け止め、保護者が真に望む完全給食の

「学校給食に準じる弁当配達制度（ランチボックス）」については、平成20年12月議会でも『平成21年度の2学期からの実施を目指し、調査検討する』と述べてきたが、アンケート調査の詳細な分析の結果、ランチボックスを毎日利用したいという希望者は1387人中255人で18・4%という状況であり、事業採算性の課題も考慮し、実施は困難であると判断した」と表明しました。

## 学校給食にかかわる経過

学校給食の問題については、幾度となく議論されてきた経緯がありますが、町は「親の愛情弁当が望ましい」との判断で、完全給食実施を見送ってきました。

このことについては、これまで何度も議員から質問がありました。町は「実施に関わる建設費用やランニングコストなどを考えると困難である」と、一貫した答弁をしてきました。

大幅な修正がなされたことを受け、議員からは「本年度からランチボックス制度による給食が開始されることを期待していた」「なぜ今ごろ完全給食なのか」「完全給食にするべきだ」「確実な実施を期待する」などの意見が出されました。

しかしながら、近年、急速に核家族化が進み、両親共働きの家庭が増えたことで、保護者からこれまで以上に「完全給食を実施してほしい」との声が寄せられ、議員からも「完全給食でなくても希望者へ配食するランチボックス制度の導入を検討すべき」との意見が出されました。

平成20年第3回定例会での町長所信表明で「ランチ

ボックス制度の調査・検討を実施する」と方向性を示し、同年第4回定例会では、教育委員会が「早くても平成21年2学期からの実施となる」と具体的な時期を示しました。

ところが、今回の定例会で「平成21年度から予定していたランチボックス制度の実施を見送り、完全学校給食について平成25年度の実施に向け調査・検討を進める」と大幅な修正がなされました。

## 財政計画との整合性が前提

いことから、財政上の問題が大きいかかわってきたものと受け止めてきた。区画整理事業の着実な推進、公共下水道山田地区の環境整備など大きな課題もある。それらを踏まえて今回の結論に達したのか」という質問に対し、町は「平成23年度から始まる第8次総合発展計画後期計画に盛り込み、財政計画との整合性を図りながら推進することが前提であるが、実施に向け努力したい」と決意を述べました。

## 一般会計当初予算はおよそ64億円

本定例会には、一般会計をはじめ国民健康保険特別会計など10会計でおよそ14億円の平成21年度予算が提案されました。議会は予算特別委員会を設置し、4日間に及ぶ審議の末、原案どおり可決しました。

一般会計当初予算の総額は、歳入・歳出それぞれ63億8233万円。前年度に



学校で食べる初めての給食（大浦小学校1年生）

対し金額で3714万円、0・6%減のマイナス予算となりました。

本年度の予算は▽徹底した行政改革と堅実な財政運営▽発展計画事業を着実に推進するため必要な財源の確保▽プライマリーバランスの均衡▽限られた財源の効率的な運用などで財源不足額を圧縮すること――を

- 基本として、財政運営の堅実さを保ちつつ元気なまちづくりをめざす、第8次総合発展計画4年目の重要な編成が行われました。主な事業は次のとおりです。
- ▽道路維持費および新設改良費 1億5312万円
  - ▽土地区画整理費 3億869万円
  - ▽下水道総務費 2億4264万円
  - ▽障害者福祉費 3億2100万円

## 予算関係

【平成20年度】

- 一般会計補正予算（第7号）  
2,709万円を減額。総額72億7,294万円。
- 国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）  
326万円を減額。総額26億8,085万円。
- 介護保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）  
3,366万円を追加。総額14億1,239万円。
- 簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）  
400万円を減額。総額8,464万円。
- 漁業集落排水処理事業特別会計補正予算（第3号）  
61万円を減額。総額1億4,786万円。
- 公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）  
21万円を減額。総額4億647万円。

【平成21年度】

- 一般会計と特別会計など総額114億円の当初予算が決まりました。

## 人事案件

### ■人権擁護委員の候補者を推薦

人権擁護委員の候補者として八木善政さん（64）＝織笠＝を推薦しました。

同委員は、人権相談や人権思想の普及・啓発を行います。



八木善政さん

## 選挙

### ■岩手県後期高齢者医療広域連合の議会の議員の選挙

岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員の選出方法が改正され、各市町村から町長あるいは町議会議員の中から1人選出することになったことに伴い、投票による選挙を行った結果、山崎幸男議員が選出されました。

## 議員発議・その他

### ■山田町議会会議規則の一部を改正する規則

これまで任意で活動していた全員協議会と常任委員協議会を公の会議の場として定めました。

### ■山田町議会の議員の定数に関する事

議会の議員定数（現行18人）について、山田町議会議員定数検討委員会を設置し、平成22年3月31日までの期間で検討するものです。委員に選出された7人は次のとおりです。

委員長 道又 秀徳

副委員長 三ヶ尻隆雄

委員 稲川 勝憲、佐藤 照彦、木下志き子

阿部 幸一、生駒 利治

て応援特別手当給付事業が実施される見込であること、また、地方再生戦略として地域活性化・生活対策臨時交付金が交付されることに伴う補正予算5億2684万円（年度内に完了できないため、全事業とも平成21年度に繰り越し）が提案され、審議の結果、原案どおり可決されました。

## 一般会計に5億3,820万円を追加

# 景気悪化に対応し臨時職員を雇用

第1回臨時会

第1回臨時会が2月3日に開かれ、製造業を中心に雇用情勢が急速に悪化したことに対応するため、臨時職員雇用賃金や町中小工業業金融対策基金への積立金などの専決処分1136万円と、国における生活対策や生活防衛のための緊急対策として、定額給付金事業および子育て



# 平成21年度の 所管事務調査テーマ決定

## 担当部署から現状などの聞き取りを実施

議会には、総務、教育民生、産業建設の3常任委員会があり、毎年、それぞれテーマを決めて本会議が閉会中でも継続して調査を行っています。調査は委員会が担当する役場の部署の事務・事業の調査や先進地視察などを行うものです。3月定例会中に21年度のテーマが次のとおり決まりましたので紹介します。

### 総務常任委員会

- ① 機構改革の成果と課題について
- ② 地上デジタルテレビ放送への対応について
- ③ 町財政の現状と課題について
- ④ 第8次総合発展計画の進捗状況について
- ⑤ 町税の収納状況及び納税貯蓄組合の現状と課題について
- ⑥ 救急及び火災等緊急時の対応と課題について



消防防災課から説明を受ける  
総務常任委員（昨年の様子）

### 教育民生常任委員会



豊間根中学校で説明を受ける  
教育民生常任委員  
（昨年の様子）

- ① 介護保険の現状と課題について
- ② 社会福祉施設の管理運営について
- ③ 町民の医療と健康について
- ④ 国民健康保険事業の運営について
- ⑤ 環境、廃棄物処理、リサイクルについて
- ⑥ 学校教育施設の管理運営について
- ⑦ 中高連携教育について
- ⑧ 学校給食について

### 産業建設常任委員会

- ① 観光振興の現状と課題について
- ② 畜産振興と堆肥センターの現状と課題について
- ③ 柳沢北浜地区土地区画整理事業の進捗状況について
- ④ 町道及び排水施設の現状と課題について
- ⑤ 下水道事業による整備状況について
- ⑥ 水道事業施設の改良整備について
- ⑦ 地域産業の活性化策について



担当課から説明を受ける  
産業建設常任委員  
（昨年の様子）

# 住みやすいまちづくりへ より一層の努力を求め

予算特別委員会は、3月9日から12日まで町中央コミュニケーションセンターで開かれました。初日には、委員長に山崎幸男委員を選出。4日間にわたり一般会計や介護保険特別会計など10会計の平成21年度当初予算を審議しました。財政問題や産業振興策など、会計ごとに委員から数多くの質問があり、活発な議論が交わされました。ここではその審議の概要をお伝えします。

## 総括 質疑

平成21年4月1日から3年間、山田町特産品販売協同組合を指定管理者として指定しました（道の駅）

### 行政サービス 後退してるか

**問** 一般会計予算が減っている。町民への行政サービスは後退しているか。

**企画財政課** 身の丈にあった財政規模にしてきた。全体を見れば町民に対する行政サービスの後退はない。

### 予算減の連続 今後の推移は

**問** 平成13年度決算をピークにマイナス予算を組み合わせ、単年度予算規模でおよそ34億円の圧縮してきたが、今後の推移は。

**町長** 平成13年度の決算については、異常な決算規模

であったと思っている。国から話があり、当初3年計画で建設予定の山田中学校を2年で実施したことが大きな要因と考える。

その後については、国の交付税が大幅に減少したことが要因である。昔のような右肩上がりの時代は来ないと思っているので、これからも健全な財政運営に努めていく。

### 道の駅にかかわる 債務負担行為の意味

**問** 道の駅「山田町林産物展示販売施設」の指定管理者の指定にかかわる債務負担行為3年の意味は。

**副町長** 会計は単年度収支が原則である。債務負担行

為とは、2年以上にわたる事業などを行う場合に、議会の議決を得て実施するものである。道の駅の指定管理者については、3年間の委託期間で議決を得ていることから、3年間の予算の裏付けが必要になる。

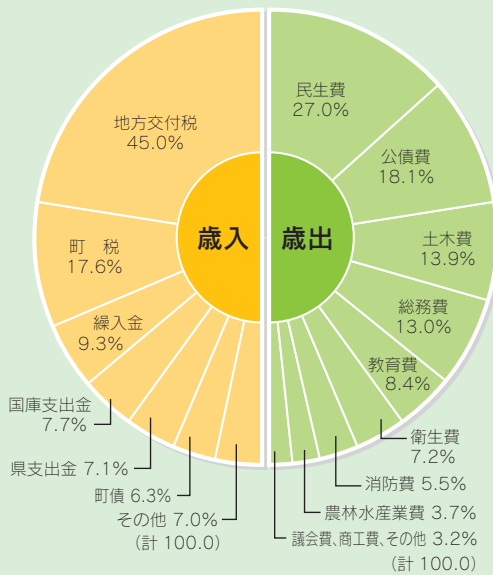
### 地元医師と連携し 地域医療の確保を

**問** 県立山田病院の医師確保に進展はあったか。地元医師と連携を図り、地域医療を守ってほしいが。

**保健福祉課** 山田病院、地元医師、町を交えて懇談会などを行っている。地域医療を守るため、行政も側面から支援していかなければならないものと思っている。

# 平成21年度予算額

◆一般会計 63億8,233万円



## ◆特別会計など

国民健康保険	24億4,460万円
後期高齢者医療	1億5,273万円
老人保健	1,151万円
介護保険	14億2,977万円
介護保険 (サービス事業勘定)	280万円
簡易水道事業	8,586万円
漁業集落 排水処理事業	1億4,175万円
公共下水道事業	4億271万円
水道事業	収益的支出 2億8,469万円 資本的支出 1億3,026万円

## 参考

### 1世帯当たりの一般会計歳出予算額 (21年3月1日現在 7,213世帯)

民生費 (福祉の向上のために使われる経費)	239,044円
公債費 (事業を行うため借りたお金の返済に充てる経費)	159,952円
土木費 (道路の整備や区画整理事業に使われる経費)	123,305円
総務費 (一般事務費などに使われる経費)	114,646円
教育費 (小中学校の管理や社会教育に使われる経費)	74,450円
衛生費 (各種検診やごみ処理に使われる経費)	63,535円
農林水産業費 (農林水産業の振興に使われる経費)	32,743円
その他 (消防費、議会費、商工費など)	77,162円
合計 (1世帯当たり)	884,837円

## 若者の流出防ぐため さらなる努力が必要

**問** 住みやすく、子育てしやすい環境をつくるのが若い人たちの流出を防ぐものであると思う。

人口減少に歯止めをかけるため、さらなる努力が必要だと思うが。

**保健福祉課** 人口減少の歯止め策は、総合的な施策の展開が前提である。子育て支援については、保育料軽減を考えている。予算が成立すれば軽減率は県内で上から10番目くらいとなる。直接的支援のほか、子育て相談体制の充実に努めたい。

## 職員数減るほど 地域に入るべき

**問** 職員が外に出ることは大事である。職員の数が減れば減るほど地域に入ることが大事になると思うが。

**総務課** 職員数は年々減っているが、事務量は増えている。これまで以上に地域とのかかわりは重要になると感じている。

**問** 職員は健康に注意し、町の発展のため努力したい。

**保育園などの民営化削減される財源は**  
完全給食にかかわる財

源については、保育園の民営化によるものとのことである。保育料の軽減も民営化により削減された財源を充当するという話があった。保育園などの民営化で、どれくらいの財源が削減され、どこまで対応できるか。

**副町長** 完全給食にかかわる問題は、平成25年度の実施に向けた施設建設の財源調整と建設後のランニングコストである。財源確保については、22年度に保育園1園の民営化を実施、23年度に児童館を健全育成型に移行する。時期は未定であるが、教育委員会では幼稚園の廃園も検討している。平成21年度の町職員人員

費が約9000万円の減少となることから、ランニングコストについては、これらを財源に充て、建設費用に計上していく。

## 住民協働は大事 町民職員資質向上を

**問** 自立する町をつくるためには、住民協働は大事である。町民と職員の資質の向上が求められていると思うが。

**町長** 昔のように地域でできることは、地域の皆さんでやってほしいと思っている。これからも住民協働は重要なテーマである。

## 一般計

### 法人税37%減の見積もり根拠

**問** 法人税を37%減と見積もった根拠は。

**答** 法人税を37%減と見積もった根拠は、現在の経済状況を考え、歳入欠陥とならないよう厳しく見た結果である。

### 収納率達成のため力を入れる点は

**問** 収納率達成のため、力を入れる点は。

**答** 県の特別滞納整理機構と連携して、悪質滞納者・長期滞納者への対応を進める。

平成20年度は122人に納税催告をして、そのうち2人から完納され、53人が分納に結びついた。できれば課内で対応したいが、悪質な場合は滞納整理機構にお願いする。

### 納税貯蓄組合を増やす取り組みは

**問** 納税貯蓄組合の補助金が改定されたのか。また、組合を増やすべきでは。

**答** 平成16年12月に現行の事務経費として補助してきたが、社会情勢の変化もあり、組合員が活動しやすい環境を整備し、補助単価も上げた。町として組合を増やすことは難しいが、組合で人数を増やす努力をしているようだ。

### 三鉄財政支援の補助金内容は

**問** 三陸鉄道財政支援補助金の内容は。

**答** 経営改善計画に基づき、平成21年から5年間実施する。沿線8市町村と沿線外では負担割合が違うが、本町は沿線外であり、単年度で80万円補助する。事業内容は、主に施設整備分である。

### 国土調査事業の実施面積減か

**問** 国土調査事業がマイナ

ス予算となったが、実施する調査面積が減るか。

**答** 国土調査は10年ごとの計画で進み、平成21年度が第5次計画の最終年。対象は、小谷鳥地区の245筆、0.28平方キロ。平成22年度から第6次計画がスタートするが、国では、地権者の負担を軽減するため、山林などの調査を現地ではなく衛星写真を用いて会議室で実施する方法も検討しているようだ。また、高規格道路整備など国直轄事業に合わせて実施する方法も検討しているようなので期待したい。



三陸鉄道の経営改善が期待されます（宮古駅ホーム）

### 生活保護世帯は増えているか

**問** 経済危機による景気の悪化に伴い、生活保護世帯は増えているか。また、申請件数と受理しなかった件数、理由は。

**答** 2月末現在、193世帯288人、昨年8月の実績は、193世帯289人であり、ほとんど変わっていない。1月末現在の申請件数は24件、決定17件、取り下げ2件、却下4件である。審査については、県が判断し

### 反対討論

■黒沢一成議員

一、通学路の安全確保のため、一日も早い実施が望まれていた町道前須賀タブの木荘線の歩道設置事業が、先延ばしされたこと。

一、アンケートの結果を受け止め完全給食実施の検討をすることは評価するが、今年の2学期より実施する考えを進めていたランチボックス方式の給食を断念したこと。

この二つが結果として盛り込まれなかった本予算に反対する。

■佐藤照彦議員

以下の理由で反対する。財政難を理由に町独自の施策を後退させ、貧困と格差から住民を守る対策が不十分であること。

人口減、少子化に歯止めをかける積極的な対策が不十分であること。

町民所得を向上させる積極的な予算といえず、地域産業の振興を図る施策が不十分であること。

生涯学習の拠点である公民館活動、図書館活動が弱体化し、高い水準の文化を地域住民が享受する点で不十分であること。





5月24日に待望の復活!! アサリまつり  
(平成18年4月29日に開催された様子)

て決定しているが、却下の理由としては、土地などの財産があるため当面生活できると判断したものの、若い人たちについては、仕事をしよう指導したケースもあると思う。

## 旧山田病院活用し 内科を開業しては

**問** 旧山田病院を活用して、内科医が開業できるようにしては。

**保健福祉課** 医師確保については、町民にとって最も

関心がある問題だと思っ  
てありとあらゆるものを町と  
して検討したい。

## 社協事務移管分 町でできないか

**問** 社会福祉協議会へ事務  
移管している分を町で行え  
ないか。

**保健福祉課** 町から移管し  
ているものは、社会福祉関  
連6団体の事務である。地  
域福祉・社会福祉活動など  
よりスムーズに行えらると考  
える。

**問** 社協を役場だと思っ  
ている町民も多いのでは。

また、さまざまな会費も  
任意ではないと思っ  
ている別の組織であることを説明  
するべきでは。

**保健福祉課** 誤解のある部  
分は町民に周知していく。  
会費は任意であるが、社  
会福祉事業を展開するため  
には必要であることも理解  
してほしい。

## 市町村総合補助金で 実施する内容は

**問** 市町村総合補助金で実  
施する事業の内容は。

**産業振興課** 山田の魅力発  
信実行委員会が実施する事  
業である。カキまつり、オ  
ランダ島まつり、秋まつり  
うんめーごっつおー発信事  
業、観光ガイドブック制作  
事業の5本である。

## アサリまつりの 事業の内容は

**問** 本年度復活するアサリ  
まつりの事業の内容は。

**産業振興課** 5月24日の1  
日のみの開催である。場所  
は織笠川河口、募集人数は  
3000人で、はがきによ

る予約制としたい。

## 前須賀タブの木荘線 歩道設置早めるか

**問** 町道長林大浦線が計画  
より早く完成すれば、前須  
賀タブの木荘線の歩道設置  
を早めると聞いていたが。

**地域整備課** 国の補助がな  
ければ実施は難しいことか  
ら、計画どおり平成22〜24  
年度で実施したい。

## 消防団の区割り 行政区と同じに

**問** 消防分団の区割りが行  
政区と異なるが、同じにす  
べきでは。

**町長** 分団同士で話し合う  
ことがベストであるが、町  
としても検討したい。

## 学校教育相談員 配置先はどこか

**問** 学校教育相談員が増え  
るが、どこに配置するか。

**教育委員会** 特別教育支援  
員が1人から3人になる。  
発達障がいや不登校など、  
支援の必要な子供がいる学  
校で、特別支援学級がない  
学校に派遣したい。

## 賛成討論

■ 豊間根 信議員

町民税・固定資産税・町  
たばこ税など大幅な減収が  
見込まれ、町民の収入も減  
少し生活が苦しくなってい  
る現状を認識し100年に  
一度といわれる未曾有の経  
済危機に対し、柔軟な姿勢  
をもって前向きに取り組む  
姿が見える。財政健全化策  
も重要であるが10年後のピ  
ジョンを示し町民が夢をも  
てる投資的経費の投入も重  
要である。今こそ町長マニ  
フェストのとおりトップ  
セールスとして医師対策、  
産業活性化、雇用問題など  
に汗を流すことを期待する。

■ 稲川 勝憲 議員  
継続事業の土地区画整理  
事業や山田処理区の公共下  
水道のほかに、仮称「山田  
町商工業懇話会」の立ち上  
げなど新規事業が数多く予  
定されている。

特に学校給食のランチ  
ボックス方式導入の公約か  
ら、財政計画との整合性を  
前提に、平成25年度の完全  
給食の実施にむけて大きく  
方向性を転換した。大変重  
い決断をした町長に敬意を  
表す。

町長以下職員の創意と工  
夫、努力をお願いし賛成討  
論とする。

別計  
特会

出産育児一時金  
増となる理由は

**問** 出産育児一時金の予算が増となる理由は。

**住民生活課** 本年1月1日から3万円上がって38万円になったことによる増である。さらに10月から4万円上がる。

介護施設開設  
補助はあるか

**問** 介護施設開設への補助はあるか。

**保健福祉課** 建設費に対し国から1500万円の補助が交付される。

**問** 本町で、この制度を活用して建設した実績は。

**保健福祉課** 過去に2件ある。小規模多機能施設の開設時には、単年度のソフトメニューもある。

大浦簡水改修で  
漏水解消するか

**問** 大浦簡水の改修により漏水は解消されるか。

また、この事業は単年度で実施できるか。

**水道事業所** 単年度で実施し、石綿管1510戸のうち1100戸の改修を行う。漏水については、解消されると思う。

**問** 大浦本通り線の舗装も一緒にやってほしいが。

**水道事業所** 施工の幅があるが、地域整備課と協議し

公共下水道山田地区  
計画通り併用開始か

ていきたい。

**問** 公共下水道山田地区の一部併用開始は、計画どおり平成27年度でいいか。

**地域整備課** 第8次の後期計画は、区画整理事業を第一と考えているが、新たに学校給食も入ってくる。今後、協議していきたい。

**問** 学校給食についても決断したが、海もないがしるにできない。できるだけ27年に一部だけでも併用開始

したい。

未給水地区は  
解消されたか

**問** 山田の未給水地区は解消されたか。

**水道事業所** 広い範囲で考えると解消されたが、地区で見ると、内野、落合、山谷地区が残る。地区の状況、財政の状況を見ながら対応していきたい。

**問** 未給水地区については、水の心配がないようにしてほしいが。

**水道事業所** 世界的に環境が変化している。山田も例外ではなく、水量は昔に比べると減っている。水不足になったときには、各地区と協議していきたい。



大浦簡水石綿管の布設替えに併せて、本通り線の舗装整備が望まれています

各処理施設の接続率と水洗化率 (%)

事業 地区	漁業集落排水処理施設				公共下水道施設			
	大浦地区		大沢地区		田の浜地区		船越地区	
区分	接続率	水洗化率	接続率	水洗化率	接続率	水洗化率	接続率	水洗化率
16年度	99.0	75.9	45.1	44.8	36.7	36.6	39.0	38.1
17年度	99.3	77.6	46.4	46.3	38.1	38.0	42.5	41.5
18年度	99.3	77.7	49.4	49.1	41.8	41.7	52.8	51.9
19年度	99.3	78.4	51.0	50.7	45.1	44.9	55.0	54.0



みんなで食べるお昼ごはんは  
楽しい時間（山田南小学校）



吉川淑子議員

## 学校給食

# 小中学校の完全給食を切望

## 平成25年度実施に向け検討

**質問** 「昨年実施したアンケート調査の結果、保護者の多くはランチボックス方式より完全給食を切望するものであった。詳細な分析の結果、希望者は1387人中255人という状況であることから、事業採算性を考慮し、ランチボックスの実施は困難であると判断した」とある。

私は学校給食推進派であるが、この判断は良かったと思っている。今後、保護者が真に望む完全給食の実施について調査検討を進めるとあるが、そのスケジュールと概要は、**沼崎町長** 第8次山田町総合発展計画後期計画に盛り込みたい。平成21年度から22年度にかけて建設場所

## 議員9人が一般質問

**質問** 保育料軽減と保育園の民営化について、次の点を問う。

①保育料の軽減率を現行の約25%から40%まで引き上げ、子育て家庭の負担軽減を図るとある。40%まで軽減率を引き上げることで、町の財政負担はどの程度増額になるか。また、その財源は。

②行政改革の一環として、平成22年度の保育園の民営化を検討するところがあるがどうか。

**沼崎町長** ①軽減率を40%まで引き上げると、およそ1600万円の増額になると見込んでいます。財源については、保育園の民営化および児童館の健全育成型移行に伴う削減経費を充当したい。

②船越保育園か織笠保育園のいずれかに決定する。平成21年度は、引き受け法人の募集を開始、22年度から民営化を進める予定で協議していく。

## 子育て支援

# 保育料軽減による財政負担は

# 約1600万円の増

施設規模、建設主体、運営形態、会計制度などを調査検討、23年度に実施設計、23年度〜24年度で建設、25

年度から実施と考えており、この一連のスケジュールは「財政計画」との整合性が大前提である。

**質問** ここまで踏み込んだので、給食センター方式でぜひ頑張ってもらいたい。小中一緒が無理なら、小学校からでも始めてほしいが。

**沼崎町長** 実施するなら小中学校一緒に行う。



稲川勝憲議員

## ごみ処理

# 廃棄物分別収集のPR方法

## 住民説明会の実施と全戸チラシ配布

**質問** 平成21年4月から新たに始まる7種類11品目の廃棄物分別収集が円滑に行われるよう、引き続き資源循環型リサイクルの意識啓発を図るとあるが、実施まで期日がせまってきた。具体的なPRの方法を示せ。

**沼崎町長** 本年4月から実施するゴミの分別収集品目の拡大については、昨年7月から町内各地区で住民説明会を開催し周知を行っている。説明会の開催に当たり、行政区、自治会、衛生実践会などの組織を通じて、

都合の良い日程や会場を設定し、本年2月末までに38回開催し、延べ18000人に対して説明してきた。今後も、3月中に10回程度の

開催を予定している。  
また、新しい分別区分の一覧表は、3月15日号の広報やまだの配布に併せて、全世帯に配布する。  
4月からは、国の緊急雇用創出事業を活用し、リサイクル分別などの巡回指導やゴミの不法投棄監視パトロールに従事する不法投棄廃棄物監視指導員の雇用を予定している。

## 安全対策

# 田子の木地区の街灯増設 必要と判断、調整を図り設置

**質問** 町道織笠外山線の旧白石児童館前から田子の木バス停前までの約800メートル、街灯が5灯しか設置されておらず、住民の夜間通行に支障をきたしている。

また、本路線は田子の木地区から轟木小学校へ通う児童の通学路であり、特に日照時間の短い冬の下校時の安全確保が必要である。  
さらに、旧白石児童館前から西へ100メートル付近の町道脇には、防火水槽

が設置されている。しかしながら、街灯の設置が無く、仮に夜間に災害などが発生した場合には、暗い中での作業となり、消火活動などにも大きな影響がでてくる。ことが懸念されることから、早急に街灯を増設すべきと思うが。  
**沼崎町長** 現地を確認し、必要と判断したので、新年度における要望全体の中で調整を図りながら、設置していく。



資源ごみ回収の様子（外山地区）

## 町の考えを聞く



山崎泰昌議員

学校給食

# 完全給食実施年度は

## 平成25年度を目標に

**質問** 町では、早ければラ  
ンチボックス制度を平成21  
年度2学期から実施するとい  
ってきしたが、困難である  
と判断し、今後、完全給食  
実施について調査・検討す  
ると方向転換した。

マニフェストにもあり、  
実施を期待していた人もい  
るので、中止に対する説明  
が必要では。

**沼崎町長** アンケート調査  
に協力した皆さんには、教  
育委員会を通じて説明した  
い。住民には、広報などを  
通じて報告する。

**質問** 今後のスケジュール  
を示すべきでは。  
**佐藤副町長** 平成21、22年

度に建設場所、運営形態、  
会計制度などの調査・検討  
23、24年度に設計および建  
設、25年度4月の実施を目  
標に行いたい。

財政計画の見直しが必要  
であり、平成23年度から始  
まる第8次総合発展計画後  
期計画に盛り込みたい。

**質問** 検討した結果、人数  
が少なくて中止にするとい  
うことはあるか。

**佐藤副町長** 平成25年度は、  
1405人の児童・生徒数  
を見込んでいたが、平成30  
年度には、1100人程度  
になる予想である。減少し  
た分は福祉関係などへの活  
用も検討していく。

### 水産振興

# 漁業者への支援策は 新たな補助制度を創設

**質問** ある漁協の営漁計画  
には、後継者または就業意  
欲のある漁業者への支援協  
力が必要と書いてある。町  
は漁業者に対し、近代化資  
金利子補給など既存の事業  
以外に新たな支援策を検討

しているか。  
**沼崎町長** 県の地域営漁計  
画推進特別対策事業があり、  
町としても上乘せ補助を行  
う。また、1事業当たり10  
万円を上限とした漁協、漁  
業者グループに補助する制

度

**質問** 漁家の生活を守るた  
めの漁協だと思いが、現状  
は漁協を守ることので精一杯  
な感じを受ける。今こそ行  
政の力で漁家を支援すべき  
だと思ふ。そのためにもア  
ワビ事業などへの支援を拡  
充しては。  
**内田水産振興主幹** 漁協を  
守るのが精一杯というのは  
そのとおりであるが、地域  
営漁計画をもとに頑張つて  
いる。アワビについては、  
これまでどおり調査には協  
力するが、種苗放流は各漁  
協で行ってもらいたい。

度

度

### 議員9人が一般質問



アワビ選別作業の様子（大浦地区）



三ヶ尻隆雄議員

定住促進

# プロジェクトチームの創設

## 必要に応じて委員会を再開

**質問** 本町の人口は2万人を切り、民間による10年後の人口予測は1万7000人台まで減少するといわれている。人口減少を阻止するため、新たな取り組みを展開するプロジェクトチームを創設してはどうか。

本町にI・Uターンで定住した人が何世帯・何人いるか。また、定住者に対する優遇措置は。

供など、町のホームページに掲載している。ふるさと山田同郷の会の皆さまにPRするとともに県の移住促進策の展開に併せ、県東京事務所やいわて銀河プラザと連携して田舎暮らしを望む都市住民に情報提供している。プロジェクトチームについては、必要に応じて委員会を再開したい。

定住促進で移住された人は3人であるが、窓口において転入者の転入理由などはチェックしていないため、何世帯・何人という把握はしていない。定住者に対する優遇措置は特に設けていない。

### 産業振興

## 定額給付金と併せ思い切った政策を 地域消費活性化のため検討

**質問** 産業振興について次の2点を問う。

① 定額給付金給付のタイミングに併せ、思い切った政策を打っては。

② 中心市街地新規出店者経営支援事業の内容は。

**沼崎町長**

① 定額給付金の給付に併せて、全国の商工関係団体がプレミアム付き商品券の発行を検討し、自治体が支援する動きがあることは承知している。本町

も、地域消費の活性化を図るため、関係団体と打ち合わせしており、詳細は今後検討していく。

② 商工会が、中心市街地にぎわいを促進するため、現在未利用の店舗を賃借する新規出店者に対し、開業時の初期投資の緩和と経営支援を図るものである。町では、5万円を限度として月額賃借料の2分の1相当の額を12カ月間支援する。

### 町の考えを聞く



定額給付金事務室が設置されました（役場3階）



中心市街地のにぎわいを促進するため未利用店舗の活用が望まれます（中央町）



豊間根信議員

## 産業振興

# 町全体の商店街活性化策

## 中心部の状況を見ながら次の段階へ

**質問** 中心商店街空き店舗活用事業に対し助成・支援していくとあるが、その具体的内容は。

**沼崎町長** 商工会が中心市街地のにぎわいを促進するため、未利用店舗を活用する新規出店者に対する事業（5万円を上限とし月額賃借料の2分の1相当を12カ月間）を町が支援する。  
**質問** 旧町村単位の中心商

店街もさびれてきているのに、町の中心商店街の活性化だけでいいのか。町全体としての商店街活性化策も必要ではないか。

**宇澤産業振興課長** 商工会とは協議しており、各地区の要望などもあると聞いている。先に中心商店街で活性化策を実施し、その状況を見ながら次の段階へ進みたいと考えている。

## 議員9人が一般質問

**質問** 産業振興基金を団体にこたわらず個人にも適応し、未曾有の危機をチャン

スに変えるため、あらゆる産業に投資し、10年後の本町の礎を築くときでは。  
**宇澤産業振興課長** 産業振興基金の対象は団体のみである。新規出店者、事業を立ち上げる人については、商工会などにある制度資金を活用してもらいたい。

## 行政改革 独自の独自施策 管理職手当の減額などを実施

**質問** 行財政改革については、一定の成果を上げていくというが、住民サービスや事務に支障が生じないよう「事務事業の見直しや研修の充実を図る」とある。

サービスの向上につながるかと考える。  
**質問** 大阪府をはじめ、各自治体が独自の行財政改革を行い成果を上げているが、本町の独自施策は。

どのような内容で住民サービスの向上を図るのか。  
**沼崎町長** 経験を持った団塊の世代の大量退職がはじまり住民サービスが低下しないよう、職員自らが自己研鑽に努めるとともに、必要な知識・技術の習得や専門性を高めるための研修などに参加することが住民

**沼崎町長** 平成16年度に組織・機構の改革を行い事務の効率化を図り、17年度から21年度までの行政改革事項の実施計画（集中改革プラン）で旅費手当額の引き下げ、管理職手当の減額、寒冷地手当の廃止など町独自の考えを取り入れながら進めてきた。



雇用を確保するため、緊急雇用創出事業を実施しました（作業開始式の様子）



道又秀悦議員

## 雇用対策

# 100年に一度の不況が町に与えた影響は

## 消費者物価高騰と雇用調整大きい

**質問** アメリカで端を発した100年に一度といわれる世界同時不況が、本町にどのような影響を与えているか。

**沼崎町長** 町全体の影響は、消費者物価の上昇であるが、最も影響が大きいのは、電子機械器具製造業、特にコネクタ・金型製造業の受

注が大幅に減り、雇用調整がされていることである。その人数は、平成21年1月29日現在、86人となっている。

**質問** この苦境を乗り切るために、現在までどのように取り組み、今後どのような対応を考えているか。

**沼崎町長** 消費者物価の上

## 町の考えを聞く

**質問** 新聞、テレビで日々多重債務者、振り込め詐欺などに関する報道が増えていくように思われる。本町の多重債務、振り込め詐欺などに関する現状は。

**沼崎町長** 町で行っている多重債務相談は、平成20年度2月末で計22回開設し、相談件数は延べ4件。このうち1件は司法書士に委任され、任意整理でグレーゾーン金利が返還済みである。平成20年度から宮古振興局で始めた多重債務者弁

護士無料相談の12月末現在相談件数は、5市町村合計120件で、本町は24件。振り込め詐欺の現状については、最近町内で被害が発生した。町や警察、防犯隊が注意喚起、啓発、さらには金融機関のATMで振り込み者に対し警察官による声掛けなどを実施したが残念である。被害発生については、防災行政無線で広報周知したが、今後とも関係機関・団体と連携しながら被害予防に努めたい。

## 詐欺問題

# 振り込め詐欺の発生状況

## 最近町内で発生…残念である

昇については、低所得者などへの灯油購入費助成を行った。雇用については、緊急雇用対策事業により、

平成21年1月から3月末日まで延べ30人を雇用した。今後の対応としては、平成21年4月以降の3年間は継続的な雇用機会を創出するためのふるさと雇用再生特別基金事業と、短期雇用を創出するための緊急雇用創出事業に取り組み、雇用を確保する。



## 町の経済再生策は

## 協議会などから提言



山崎幸男議員

**質問** 本町の第一次産業を取り巻く環境は、就業者の高齢化と次代を担う後継者不足や生産量・生産額の減少などにより所得は減少し、町内の経済状況は、非常に困窮した状態である。

町の経済を再生させるためには、基盤産業である農林漁業、商工、観光業を持続可能なものに再構築し、町民所得の向上と独自振興施策のグレードアップを図る必要があることから、早急に推進体制を構築すべきと考えるが認識と所見は。

**沼崎町長** 新たな産業振興や課題解決策を模索するため「山田町産業活性化推進協議会」を設置し、協議会からは、平成21年10月末をめどに地域活性化策について、提言を受けることになっている。

また、新年度には、仮称「山田町商工業懇話会」を立ち上げ、経済・金融の情勢、各商工業の生産動向、経営戦略・産業技術などの情報交換を行い、行政施策に反映できるよう努めたいと考える。

## 道路行政

## 山田く宮古間の見通し

## 現在ルート検討中である

**質問** 三陸縦貫自動車道は、災害時の支援活動、都市と

地方の文化、人的交流経済交流に大きな期待が寄せられている。山田く宮古、山田く釜石間の進捗状況や今後の整備の見通し、整備促進に当たって、宮古市・大槌町・釜石市との連携をど

のように進めていくのか。

**沼崎町長** 山田宮古間で進めている「宮古道路」は、宮古市金浜く松山の延長4.8キロで平成21年度供用を目指している。山田釜石間の「釜石山田道路」は、釜石市両石町く片岸町の「先行整備区間」4.6キロで、平成22

年度の供用を目指している。

今後の整備の見通しについては、関係機関の情報によると、山田宮古間はルート検討中、山田釜石間は釜石市甲子町く両石町の区間を計画。また、市町村の連携については、三陸縦貫自動車道整備促進協議会を通じて、各方面への要望活動などを展開しており、これからも連携を強め、整備促進に努めていく。

## 議員9人が一般質問

山田道路以北の早期整備が望まれています  
(山田インター出口付近)



黒沢一成議員

学校給食

# ランチボックス断念か

## 業者の採算がとれない

**質問** 今年の2学期から予定していたランチボックス方式での給食に期待していた人も多いと思うが、実施は困難と判断した訳は。

**岩船教育長** 昨年10月実施した利用希望アンケートの結果、毎日利用したいのは255人であった。業者委託を考えた場合、設備投資を含めて採算が取れないことを心配した。

アンケートに完全給食の実施を望む声が多く寄せられたことから、今後は完全給食について、調査・検討を進める。

**質問** 全額個人負担とせず

調理運搬費等人件費を公費負担とすれば、単価が下がり利用希望者数が増えたのでは。

**岩船教育長** 先進地である釜石市の方式を参考にして実施を考えた。

**質問** 完全給食実施について具体的な取り組みは。

**沼崎町長** 平成21年度から22年度にかけて建設場所、施設規模、建設主体、運営形態、会計制度などを調査検討し、23年度に実施設計、23・24年度で建設、25年度の実施を考えている。ただし、財政計画との整合性が大前提となる。

### 雇用創出

## 緊急雇用創出の具体案

### 環境衛生と産業振興

**質問** ふるさと雇用再生特別基金事業、緊急雇用創出事業の具体案は。

**沼崎町長** ふるさと雇用再生特別事業は、雇用期間が原則1年以上で、町が民間企業に委託して実施する。

### 町の考えを聞く



観光情報などを知らせる総合案内所が設置されました（道の駅）

用期間が6カ月未満で、町が直接実施するか民間企業などに委託して実施する。

4月からは、町が直接実施する事業として、資源ゴミのリサイクル分別指導と不法投棄パトロールに年間4人を、観光イベント運営補助に1人を雇用する予定。年度途中には、環境保全整備のための作業員を雇用する計画を立案中。

そのほか、各課で想定される交付対象事業例に沿って検討している。

4月からは、農事組合法人エコファーム山田の販路拡大戦略などの取り組みで1人、町観光協会の観光情報提供への取り組みで1人、計2人の雇用を委託予定。緊急雇用創出事業は、雇



山田病院を核とした地域医療の充実が期待されます



佐藤照彦 議員

## 山田病院

# 安心できる地域医療体制の強化

## 病院と開業医の医療連携で

恒常的に当直業務の大半を  
少ない常勤医師の中でやり  
くりしているのが現状であ

り、過重な負担を強いられ  
ている。  
医師不足を克服し、山田  
病院を核とした地域医療を  
守り抜くには、地域の開業  
医との地域医療連携による  
機能分担と併せて、開業医  
による応援体制の協力が必  
要であることから、その実  
現に努力したい。

### 質問

安心できる地域医療体制の強化を図ることは重要課題であり、山田病院の医師確保と診療体制の充実について県に要望することは当然である。

同時に山田病院の常勤医師の過重負担を軽減できるよう、適切な受診について住民の意識啓発に努めなければならぬ。

さらに、地域に合った病

院と開業医の機能の分担、協力体制を築いていかなければならない。

これからは、病院・開業医・歯科医・薬剤師・行政が一堂に会して、ざつぐばらんに話し合うなど、あらゆる努力をしながら山田病院を核とした地域医療を守りぬく取り組みを展開すべきと考えるが。

沼崎町長 山田病院では、

## 議員9人が一般質問

### 教育行政

## 公民館・図書館活動の強化

### 自分に合った学習ができるようにする

### 質問

①生涯学習と地域に根ざした文化の振興に重要な公民館活動、図書館活動を強化すべきでは。

②就学前および学校教育をどうレベルアップし、第3期沼崎町政の最終年度にはどこまでレベルアップする考えか。

③町長は「保護者が真に望む完全給食の実施について、今後、調査・検討」するというのが、教育委員会もそうか。

岩船教育長

①公民館活動は、町民の自発的な学習に変わりつつある。自分に合った手段や方法で学ぶことができるようにしたい。図書館は、現状では限界があるが検討する。

②計画・実行・点検・改善を繰り返しながら、全国や岩手の児童生徒の生活習慣調査や学力調査などの平均値を上回りたい。

③教育委員会としても、完全給食の実施について調査・検討していくことを確認している。

明日の山田を担う  
飛び出せ  
青春<sup>6</sup>



部長  
村木詩音さん

山田高校書道部

—山田の未来に望むことは—  
町が活気を取り戻して明るい町になることです。  
山田には誇れるものがたくさんあります。海・山の特産物、南国を思わせる海水の透明度と砂浜が素敵なオランダ島、年に一度の秋祭りなど…。

これら魅力あるものを全国の皆さんに知ってほしいので、わたしたちもいろんな人たちに山田の魅力を伝えていきたいと思っています。

—目標(夢)は—  
各種コンクールで良い成績を収めること、毎月行われる日本習字教育財団の検定で昇級・昇段することが目標です。

今年、岩手県高等学校総合文化祭が宮古地区を会場に行われるので、とても楽しみです。これからも、日々の練習に励みながら、全国高文祭に出展して入選できるように一生懸命頑張りたいと思います。

—山田の好きなところは—  
緑がきれいな山やオランダ島が浮かぶ海…。この自然がすごく大好きです。

春・夏・秋・冬と違った景色を見せてくれる自然をいつまでも、いつまでもわたしたちが見ていられるように大切にしていきたいです。



目指せ全国高文祭！山田高校書道部

議員出欠表

◎病欠入院 □公務欠席  
△遅刻早退 ○自己都合

月日	本会議種別	欠席者等氏名
2月19日	第1回定例会	欠席者等なし
3月4日	"	◎佐藤 忠 暉
3月5日	"	◎佐藤 忠 暉
3月6日	"	◎佐藤 忠 暉 ○佐々木 良一郎
3月12日	"	◎佐藤 忠 暉

明日の山田が  
見えてくる



皆さんで議会を  
傍聴しましょう。

平成21年6月定例会は、  
6月中旬に  
開会の予定です。

あ  
と  
が  
き

▼春です、野球ではWBC、高校野球とうれしい出来事が続きました▼鳥がさえずり、花は咲き誇り、国による定額給付金事業も決定し、町内では恒例の「カキまつり」に加え、「アサリまつり」が復活、さらに「花まつり」も開催されます。まさに行楽の春です▼ゴミを分別する種類が増えました。最初は面倒でも慣れてしまえば、それが当たり前になります。チリも積もれば山となる、地球環境を守るため私達にできる小さなエゴです▼山田病院は常勤内科医不在に、行政の問題もありますが、患者側も医師に負担をかけない取り組みが必要です▼さまざまな事情で自分には春が来ていないという人もいると思いますが、他人の幸せや自然、あるいは詩から元気をもらいながら、あきらめずに日々の小さな努力を積み重ねていけば、あなたにも春はやって来ます。(黒沢)

議会広報編集特別委員会

- 議長 昆 利 暉
- 委員長 生 沢 成 治
- 副委員長 黒 林 一 隆
- 委員 小 黒 一 利
- 委員 豊 間 根 隆
- 委員 山 崎 泰 昌
- 委員 稲 川 勝 信